



ふれあいがわら版



ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区キャビネット 〒670-0932 姫路市下寺町 43 姫路商工会議所新館 3F
TEL 079-281-8444 FAX 079-281-8421 http://www.lc335d.gr.jp

献血奉仕を!!

日赤ってどんなところ?!

赤十字と日本赤十字社について

赤十字は、アンリ・デュナン(スイス人で第一回ノーベル平和賞受賞者)が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字社・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一社であり、「日本赤十字社法」という法律に基づいて設置された認可法人で、中立性をもった人道的な活動を行っています。西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。名誉総裁は皇后陛下で

す。社長は近衛忠輝(国際赤十字・赤新月社連盟会長)で、現在は次の9つの事業を行っています。

- ① 国内災害救護
- ② 国際活動
- ③ 赤十字病院
- ④ 看護師等の教育
- ⑤ 血液事業
- ⑥ 救急法等の講習
- ⑦ 青少年赤十字
- ⑧ 社会福祉
- ⑨ 赤十字ボランティア

日頃からライオンズクラブの皆様にお世話になっている「血液事業」は、1952年4月に血液銀行を開設して以来、数々の歴史を重ねて現在に至っています。

「明日の命」と

「助け合う社会」のために

335-D地区の

献血セミナー

兵庫県赤十字血液センター
姫路事業所長 藤田嘉秀



2R1Z 高砂ライオンズクラブ主催の「献血セミナー」が開催されました。

D地区の献血活動を

全国で紹介

最近、全国の赤十字血液センターの関係者等に、講演や論文を通じて335-D地区の皆様が紹介する機会があります。テーマは「ライオンズクラブ335-D地区(以下「LC」)、「D地区」の若年層献血の推進について」です。

現在、国や赤十字社では日本の血液事業の将来に向けて、若年層献血者の開拓を推進しています。その重要施策の一つに「学校などで行う献血セミナーの実施」があります。

セミナー実施校の新規開拓については全国様々な方法があり、D地区で取り組んでおられる「LCが紹介する献血セミナー」は他の模範例となつていきます。その具体的な推進方法や活動状況を3年ほど前から紹介するのですが、最近ではD地区と同様の活動をはじめられたLCもあるようです。

播磨・但馬地域の

医療体制

近年、D地区エリアにおける医療体制の整備状況や高度化には、目を見張るものがあります。公立豊岡病院救命救急センタードクターヘリの出动回数は「全国一」といわれ、TVでもたびたび取り上げられています。また、東播磨や北播磨地域の医療体制も充実してきました。そして、2022年には兵庫県立病院として最多床の総合病院が、JR姫路駅東側に開院する予定で、中播磨や西播磨地域の医療拠点になるとされています。これらにより、それま

では助からなかった多くの尊い命が救われると推測されますが、救命医療に欠かせない輸血用血液の使用量が、今後増える可能性があります。

課題に先駆ける

D地区の献血活動

輸血や献血を取り巻く日本の血液事業は、現在、大きな課題に直面しています。輸血用血液の多くは50歳以上の方々に使用されていますが10~30歳代の若年層献血者数は減少しています。特にD地区エリアのように少子高齢化が著しい地域では、このままだと、ごく近い将来にも血液の(医療機関への)安定供給が困難になる可能性があります。輸血を必要とされる患者様やご家族に、今後も安心して治療を受けていただくためには、今、若い人たちへの献血啓発が絶対必要となつていきます。

逆境だからこそのやる

D地区エリアには約170万人が住んでいます。前記のとおり、このエリアは兵庫県の内でも



少子高齢化や過疎化が著しく、献血者の確保には厳しい環境です。

小林 寛地区ガバナーは、「逆境だからこそやる。この地域に住む人たちの大切な命や健康がこれからも守られ、皆が安心して暮らせるように、LCがこれまで培ってきた地域との絆や組織力を生かし、この課題に率先して立ち向かわなければならぬ。」と、献血セミナーについて新たな提案をされました。

各LCが市町の教育機関と連携し、段取りから講師まで務める献血セミナーを実施する。
これまで中学生と高校生が対象であった献血セミナーを、小学生にも広げて一層進めて行く。

地区ガバナーご自身が昨年4～7月にかけて、赤十字職員と地区内のほとんどの市町の教育長を訪問され、「将来にわたって人の命を救うため、また青少年に『助け合いや思いやりの心』を育むために献血セミナーへの協力をお願いしたい。」と訴えられました。そして

面談されたすべての教育長の賛同が得られました。

全国の先駆けとして

今期、D地区では新規活動として献血セミナーに取り組み始めるLCが増えていきます。若い人への献血の啓発活動という全国的な課題について、D地区では他の地区に先駆け、献血セミナーなどを通じて取り組んでおられます。

また、地区ガバナーのご提案に対しても、すでに、LCメンバーが講師を務めるセミナーが実現していますし、小学生セミナーも実施されています。

全国的なLCと献血セミナーのことを少し調べてみましたが、赤十字が行う小学生セミナー（出前講座）でもまだ少数の講師まで務める（献血をメインとした）セミナーは無いように思われます。

D地区の献血活動はその地域性ゆえに「逆境をバネに」全国の先駆けとなる活動を展開されています。

ます。そしてこの活動は将来、大勢の命を救うことにつながるかと確信しています。



2R1Z 高砂ライオンズクラブがメンバーが講師となり、2017年12月18日「献血セミナー」を開催しました。

3R1Z 加西ライオンズクラブの紹介で、加西市立の小学校3校にて県内初の献血セミナー「命のリレー」開催しました

3R1Z 加西ライオンズクラブ 命をつなぐ ボランティア講座

平成30年2月8日（木）加西市立西在田小学校に於いて献血啓蒙セミナー【命をつなぐボランティア講座】を開催しました。



献血事業 平成30年2月8日（木）加西市役所ロビーに於て採血量 44400ml ご協力有難うございました。



薬物乱用防止教室開催 2月16日（金）加西市立北条東小学校に於いて6年生43名を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。



5R2Z 赤穂ライオンズクラブ 献血講座 事業報告

平成30年2月28日（水）13時25分～赤穂市立有年中学校にて、1年生～3

年生約50人を対象に、赤十字センターより講師の先生をお招きし、献血に関する『命のボランティア講座』を開催しました。赤穂LCメンバー6名が参加しました。



3R2Z 中ライオンズクラブ 100周年記念事業と 若者への期待

中ライオンズクラブ主催の「命を救う愛の献血



に協力を」と掲げた啓発キャンペーンが県立多可高等学校の体育館で3月6日に行われました。傾聴した200名の生徒は県赤十字血液センター職員の熱い説明に献血へのきっかけを見つけたようでした。

福祉の心を学ぶ多可高生はこのキャンペーンを通じて尊い命を救う愛の献血を進んで協力する姿勢を育みました。

次に「国際社会における日本と自分」と題し、多可町国際交流親善大使のロバート・エルドリッチさんの講演を聴きました。ロバートさんは自分の経験から、視野はグローバルに行動は地域に根ざし、工夫と創造を働かせることのできる人になろうと語られました。そして、道徳観や倫理観

をきちつと身につけた若者に育ってほしいと訴えられました。生徒は自分の将来と重ね合わせて熱心に聞き入っていました。



伝統の献血活動は

もっと重要になる

3351D地区献血視聴覚等社会貢献委員長 今里朱美

ライオンズクラブにとって献血事業は、長い歴史があります。しかし少子高齢化の今からが、ますます重要なんです。言われなくてもわかっていて、いつも協力している、今更何を言うのかと思っている方も多いかもありません。

でも、新しく入ってこられるライオンズメンバーもあるし、献血の課題も時代によって変わってきます。私自身が献血視聴覚等社会貢献委員長という役割を頂いて、改めて地道に継続する事業として、どうすることが良いのかを考えました。それには三つをお願いします。

- 一つ目に正しい情報や知識を持つことです
- 二つ目に事業のブラッシュアップ
- 三つ目に啓発はいろいろな機会を捉えるということ です。

一は、血液センターから講師を招いて、毎年とまでは申しませんが、3年に一度は例会で説明会を開催して下さい。定期的な活動として、例会のルーチンとして定着させてください。新しいメンバーに、活動内容をちゃんと伝えることになりま

二は、今回特にお願いしている若年層への啓発です。団塊の世代が間もなく後期高齢となります。1947年から49年の3年間に生まれた約806万人とその後の3年間で生まれた約648万人です。それが2017年1月1日現在では、65歳から69歳が最も多く1024万人に

対して、0歳から4歳が496万人と、半分に満たなくなっているのです。ご承知のように、献血で作られ血液製剤が最も使われるのはガンの治療で、今日本人の死亡の一

番の原因ということですから、単純に将来は、今の2倍の若者が献血をしてくれないと、困った状態になるということですから若い世代への啓発はすぐ

に結果が出ませんが、それぞれのクラブが奉仕活動で関わってきた小中学校や、ライオンズメンバーのPTA活動を通じて、ぜひアプローチして下さい。

校長先生に会って依頼したとか、保護者会でビデオを流したとか、これもアクティビティとして報告して下さい。

三は、いろいろな機会を捉えてということ、私の所属する姫路スターライオンズクラブで試みています。この3月のダンスター誕生での場での啓発を考えています。

若者たちがダンスを通じて健全な育ちや仲間づくりを支援する中で、会場内で啓発DVDを流し、献血開発パンフレットを配ろうというものです。

皆さんのクラブでの事業で組み込んでいただければ、きつと心に留めていただけるのではないでしょう

か。献血事業はずっと継続していただきたいアクティビティです。どうぞ空気のようによびかけて下さい。時々新しい空気を送

り込んで深呼吸するような感じで、他クラブの活動アイデアはどんどん真似てそれぞれの地域でやって頂ければ幸いです。

1R3Z
姫路白鳥ライオンズクラブ
献血事業・招待事業

2017年11月26日(日)、姫路駅東口ロータリー付近に於いて、献血活動を行いました。受付者数95名・献血者数78名・献血確保量20000mlとたくさんの方々のご協力を得ることが出来ました。ありがとうございました。

11月11日(土)、児童養護施設の生徒達31名を招待して、それぞれ興味を持った企業に分かれての職業体験を行いました。その後の昼食会では、記念品として、将来の仕事選びの参考などに役立つ書籍を寄贈致しました。



2R1Z

加古川東ライオンズクラブ

献血事業(2回目)

3月2日(金)初めての会場となる播磨町役場で今年度2回目となる献血事業を行いました。受付者数79人、献血者数60人、献血量24000mlでした。



2R1Z

加古川中央ライオンズクラブ

献血事業

3月4日(日)加古川ニッケパークタウンにて献血を呼びかけました。その日の天気は晴れで、午後からは春を思わせるような暖かさでクラブメンバーは汗をかきながら献血を呼びかけました。



3R2Z

加美ライオンズクラブ

献血事業

2018年2月16日(金)独自献血アクティビティ10時~16時30分 加美区寺内交流会館
献血受付者 109人
献血者 85人
400ml 75人
200ml 10人



5R1Z

太子ライオンズクラブ

太子春会式献血奉仕

2月22日(木)太子町鶴寺の春会式に合わせて献血奉仕を行いました。たくさんの方々の協力を頂きました。ありがとうございました。



献血人数 52名
採血量 20800ml

5R1Z

ハリマ新宮ライオンズクラブ

親子クッキング



親子クッキング





1R3Z
姫路広陵ライオンズクラブ
3Z6クラブ合同
献血事業



2月18日(日)、昨年から引き続き、3Z6クラブ合同による献血事業を姫路駅前で行いました。今でも駅前周辺にはお城などに向かう観光客で人の通りが多く、冬場の血液不足を少しでも補えるように、街の人への声掛けにも力が入りまし



1R3Z
姫路グリーンライオンズクラブ
CN36周年記念事業

CN36周年記念事業として、8月6日、姫路球場で行われたプロ野球ウエスタンリーグ「阪神タイガース対中日ドラゴンズ」観戦に姫路市内にある児童養護施設の子どもたち40名を無料招待しました。とても暑い一日でしたが、お弁当やかき氷を食べ、声援をあげ

る様子から夏休みの楽しい思い出になったと思います。もちろん、コアな阪神ファンからもらったジェット風船も飛ばしました! 試合終了後は掛布監督や新井選手、今成選手、狩野選手とお話する機会をえて、どうしたら上手くなるの? など子供たちの質問に丁寧に答えていただきました。



2R1Z

高砂ライオンズクラブ
争奪少年柔道大会
2月24日(土)に高砂総合体育館にて3回目の高砂ライオンズクラブ杯争奪少年柔道大会を開催しました。
高砂市柔道協会との共催の下、高砂市、東播磨

柔道協会、神戸新聞社、BANBANネットワークの後援をいただいたの開催となりました。

当日は、協賛いただいたコココーラウエストから、参加者にプレゼントも提供していただきました。

21のクラブ、約200名の参加者の下、熱気あふれた大会となりました。特に日ごろ大会の少ない小学校低学年の生徒には、貴重な体験となりました。



2R1Z

加古川ライオンズクラブ
薬物乱用防止教室



3月2日(金) 加古川市立氷丘小学校6年生155人を対象に薬物乱用防止教室を実施いたしました。



3R1Z

三木ライオンズクラブ
ライオンズデー奉仕作業
2月24日(土)、当クラブ周年式典などの準備のため秋には出来なかった「ライオンズデー奉仕作業」を実施致しました。

「播磨之大社 日月之宮」周辺の、国道175号線沿道の清掃作業を行いました。
大変寒い朝でしたが、皆さん張り切ってごみ拾いに精を出されていました。国道沿いなのにビールや耐ハイの空き缶が多いことにびっくりしました。とても楽しく和気あいあ



会長のおもいのもと多くのインストラクターの方の協力を得て、委員会のメンバーを中心にクラブメンバーが一体となり、今期のメイン事業を行いました。参加した全員の生徒の顔を見て120%の成功を確信しました。



3R1Z

加西ライオンズクラブ

加西市ジュニア

バレーボール大会

3月4日に、ライオンズクラブ杯加西市ジュニアバレーボール大会が開催されました。8チームの参加のもと、熱戦をくりひろげました。



3R2Z

西脇ライオンズクラブ

ぜんざいの炊き出し奉仕



第10回西脇多可新人高校駅伝競走大会でぜんざいの炊き出し奉仕

2月18日(日)第10回西脇多可新人高校駅伝競走大会がおこなわれ、西脇ライオンズクラブは、ぜんざいの炊き出し奉仕を行いました。早朝より多数の会員が参

加し、約1000食分のぜんざいを観衆の皆様へ振る舞いました。

4R1Z

和山ライオンズクラブ

平成29年度和山中学校文化賞贈呈式

文化賞贈呈式

2月16日(金)和山ライオンズクラブ第一例会にて平成29年度和山中学校文化賞贈呈式が行われました。

卒業する3年生を対象に、スポーツ関係、文化関係にて顕著な成績をおさめた生徒を表彰いたしました。

今年度は、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、吹奏楽、作文、絵画、生徒会、31名の皆さんに贈られました。



竹田城跡清掃奉仕活動

2月24日(土)竹田城跡清掃奉仕活動を実施しました。

天空の城でおなじみの竹田城跡を3月1日開場前に毎年行っているアクティビティです。

今年度は和山中学校の生徒の皆さん、朝来市商工会青年部の皆さん、ふくふくタクシーのみなさんと一緒に、竹田城跡の参道を清掃いたしました。みなさん、ご苦労様でした。



3351地区

MC・IT委員会よりの

お知らせ

本年度「ふれあい」誌の発行は年一回です。また、一部のクラブよりご希望があり、新会員報告は「かわら版」でなく「ふれあい」誌のご希望が有りましたので、臨時「ふれあい」誌を発行し、そこに掲載することと致しましたので、ご了解願致します。

1R1Z
姫路大手前ライオンズクラブ
結成50周年記念事業

会長 中村修平

私たち姫路大手前ライオンズクラブは今期で50周年を迎えます。

記念事業といたしまして何か後生に残る事業を考えてみました。

思い起こせば昨年の5月頃に「銀の馬車道」が日本遺産に認定された事を初めて知りました。何とか形で表現をしたいとの思いで取り組みました。幸いにもJR姫路駅に展示していただきます。

センター長が快く受け入れてくださいました。その後県職員の皆さま方、そして我がクラブの柱であります青少年育成の意味におきまして香寺高校美術工芸部の生徒さんにもご協力を頂き、この様な素晴らしいジオラマの完成を見る事ができました。ここまで携わって頂いた多くの皆さま方、そして設置にご協力を頂いたJR姫路駅さんに感謝

とお礼を申し上げます



文庫の日本遺産認定された「銀の馬車道」と「銀の道」をもっと知ってもらおうと、姫路市、手前ライオンズクラブ、兵庫県や周辺自治体つくる「銀の馬車道」をテーマにしたジオラマを制作し、JR姫路駅に展示する。見文化をテーマにしたジオラマが少いので、道のジオラマは5尺、横1.2メートルの大きさで、JR姫路駅中央改札口前コナロ、2つの道を再現したジオラマを設置した。(井沢 幸)

ジオラマで全容紹介



姫路大手前LCとネットワーク協

完成したジオラマを鑑賞する香寺高校の生徒たち「JR姫路駅」

25 わがまち 2018年(平成30年)3月7日 水曜日

姫路

■姫路支社
〒670-0964
姫路市東沢町78
TEL...079-281-1125
FAX...079-281-9277
e-mail
himej@kobe-np.co.jp

■営業部
TEL...079-281-1124

■神崎支店
TEL...0790-22-0045
FAX...0790-22-6659

水害や事故の速報、写真、映像提供、防災無線、防災生活情報などを上記へご連絡ください。

お葬式
24時間受付
0120-967-742

2018年(平成30年)3月8日(木曜日)

銀の馬車道 ジオラマで再現



香寺高生も製作「興味持って」

JR姫路駅 舗装道や物揚場跡

昨年4月に日本遺産に認定された「銀の馬車道」・「銀の道」と、沿線の文化財や名所などを再現する立体模型「ジオラマ」が、姫路市のJR姫路駅中央改札口前コナロに展示された。国内初の少ない両面の入る「見文化」計画の一環で製作。かつて「銀の馬車道」が実際に通っていた同駅構内に据えられた。

「見文化」をテーマにしたジオラマが少いので、道のジオラマは5尺、横1.2メートルの大きさで、JR姫路駅中央改札口前コナロ、2つの道を再現したジオラマを設置した。(井沢 幸)

沿線市町や駅中構内、民センターなど、沿線の文化財や名所などを再現する立体模型「ジオラマ」が、姫路市のJR姫路駅中央改札口前コナロに展示された。国内初の少ない両面の入る「見文化」計画の一環で製作。かつて「銀の馬車道」が実際に通っていた同駅構内に据えられた。

らしく、細かく作った。地元の人や外国人観光客が興味を持ってくれたら、うれしい」と話していた。製作費は約640万円です。姫路大手前ライオンズクラブが結成50周年記念で協賛金300万円を提供。沿線の文化財修復費が5月中旬まで姫路駅中央改札口前にあった後、駅構内の市観光案内所に移す。

